



# 魯桃桜

編集・発行 長野市立長野図書館  
〒380-0843 長野市長門町 1097-3  
電話 026-232-3558  
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



## 重陽の節句

重陽の節句は、9月9日に長寿と家の繁栄を願う行事で、五節句と呼ばれる季節の節目を祝う伝統行事の一つです。中国から伝来した行事で、奇数は「陽」を意味し、最も大きい数字の「九」が重なった九月九日は「陽が重なる日」として、おめでたい日と考えられていました。日本では、平安時代に宮中行事として行われていました。当時の貴族たちは、前日に菊の花に真綿をかぶせ、当日の早朝に夜露と朝露を含んだ真綿で顔や体をふき、長寿や無病息災を願う「菊の被せ綿」という行事を行っていました。また、宴で邪気を払うとされる菊の花を鑑賞しながら菊酒を飲み、不老長寿や子孫繁栄を祈っていたそうです。このように菊の花が深くかかわる行事であることから、重陽の節句は「菊の節句」とも呼ばれています。また、重陽の節句と収穫の時期が重なるため、栗ごはんを食べてお祝いしていたことから、「栗の節句」と呼ばれることもあるそうです。

現在もこの時期に菊の花を鑑賞する風習が残っています。毎年菊の花が見頃になる10～11月頃に、全国各地で菊を鑑賞できるイベントが開催されています。長野県でも、去年善光寺や須坂市、松本市などで菊花展が開催されていました。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



### 参考資料

- 『一冊でつかむ日本のしきたり』 永田美穂／監修 河出書房新社 《386イ》
- 『暮らしを楽しむ日本の伝統行事』 神宮館編集部／編著 神宮館 《386ク》



### イベントのお知らせ

### 開館40周年記念式典

お陰様で、市立長野図書館は今年で開館40周年を迎えました。

40周年を祝うため、記念式典を次のとおり開催します。

日時：令和7年9月28日(日) 午後1時から3時30分まで 場所：3階視聴覚室

内容：(1)記念セレモニー (2)記念講演会 講師 横山タカ子さん(郷土料理研究家)

定員：150人(先着順) ※駐車場が少ないため、公共交通機関をご利用ください。

皆さまの御来館をお待ちしています。



### 【9月映画上映予定 午後2時から3階視聴覚室】

13日(土)

タイトル：「じゃじゃ馬馴(な)らし」字幕・白黒・66分

監督：サム・テイラー

CAST：メアリー・ピックフォード／ダグラス・フェアバンクス／エドウィン・マックスウェル

<1929年 アメリカ作品>

27日(土)

タイトル：「暗黒街のふたり」字幕・カラー・99分

監督：ジョゼ・ジョヴァンニ

CAST：ジャン・ギャバン／アラン・ドロン／ミムジー・ファーマー／ビクター・ラヌー

<1973年 フランス・イタリア合作作品>

### 図書館カレンダー

■ … 休館日

開館時間 平日 9:45～19:00

土日祝 9:45～18:00

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 新刊案内

『もっと知りたいムーミンとトーヴェ・ヤンソン』橋本 優子／著 東京美術 《723ヤ》

児童文学ムーミンの作者であり、20世紀のフィンランドを代表する芸術家の一人、トーヴェ・ヤンソン。ファシズムとの闘いをへて開花したムーミンの世界、壁画の業績、肖像画などを紹介する。ブックガイドも掲載。

『怖くて美しい能の女たち』林 望／著 草思社 《773ハ》

なぜ女は亡霊になったのか？ 信長や秀吉をも惹きつけた能の魅力とはいったい何なのか？ 代表的な「女」主人公の曲を題材に、「能」の根源的魅力を解説。世阿弥創始以来滅びず、いまでも脈々と生き続ける理由を明らかにする。

『童謡・愛唱歌の謎』合田 道人／著 笠間書院 《909コ》

「ウミ」「かもめの水兵さん」「青い眼の人形」…。親しみがあり長く歌われてきた童謡や唱歌、愛唱歌の中に秘められている戦争の惨さ、蠢く悲しみを見つめ直し、歌に込められた「平和」への思いを伝える。

『あなたの名』小池 水音／著 新潮社 《Fコ》

死を前にした母と出産を控えた娘。この継母をただ一人の母として生きてきた娘は、その姿をこの世にとどめようと、母の《記録》を AI の専門業者に依頼する。母は心の底に沈めていた記憶を語り始め…。『新潮』掲載を単行本化。

『女人太平記』羽生 飛鳥／著 PHP 研究所 《Fハ》

関東申次として権勢をふるった西園寺家の若き当主・公宗の正室となった日野名子。だが彼女の栄光の日々は、後醍醐院の謀略と足利尊氏の裏切りにより、あっけなく失われ…。激動の室町幕府揺籃期を活写する歴史長編。

『遺された者たちへ』マッテオ・B.ピアンキ／著 新潮社 《973ヒ》

7年間同棲して別れた直後のパートナーの自死。やり場のない自責の念や罪悪感、そして埋めようのない寂しさ…。最愛の人を突然喪った作家が、四半世紀をかけて、言葉ではどうも表現しきれない痛みを綴った自伝的小説。

今月のテーマ

「今年は何年？」



昭和は1926年12月25日から始まり、今年で100年目を迎えます。日本で最も長く続いた元号で、戦争や戦後の高度経済成長期など、日本の歴史における激動期でした。今、昭和レトロな文化やデザインが、懐かしい気持ちにさせてくれると人気を集めています。昭和時代に関連した本を集めましたのでご利用ください。



7月発表の主な文学賞受賞作品



第47回講談社 本田靖春ノンフィクション賞

『脱露』石村 博子 《210.7イ》

第15回アガサ・クリスティー賞

『牝牛の海峡ーボスポラス』川瀬 美保  
(早川書房より11月出版予定)

### 新着CD紹介

ベスト・オブ・イマージュ 《146ヘ》

犬大好きワンワン名曲集 《763イ》

エレベーター・ミュージック 《764エ》

RYUICHI SAKAMOTO

MUSIC FOR FILM 《778サ》

柳家さん喬 20 《779ヤ20》



見たり聞いたり ～新着CDからピックアップ～

『アコーディオン モンスター』coba／演奏 《763コ》  
松代町生まれの、アコーディオン界のカリスマ coba による、2年ぶりのオリジナルアルバム。新曲10曲に加え、ボーナストラックに未発表ライブ音源、デビュー前のデモテープ音源を収録。一度聴いたら忘れられないポップなメロディと超絶テクニックをご堪能あれ。あなたを世界の旅へといざなうこと必至な1枚です。

